

2011年度受託研究概要報告

播州織ファッション特区事業

研究メンバー

野口正孝 ファッションデザイン学科教授  
花畑江梨 ファッションデザイン学科実習助手

委託者

西脇商工会議所

研究概要

西脇中心市街地の活性化と地場産業である播州織の振興を目的として「播州織工房館」、「The nuno (布)」を核にした様々な活動を行う。

同工房館で販売することを目的にして、本学の西脇プロジェクトと西脇商工会議所との産学連携ブランド「n+able」の新企画・見本制作、製品の生産を行う。

西脇市出身のアーティストであるトータス松本氏とコラボレーションして「n+able」ブランドでワークパンツを開発する。

播州織工房館を地域のコミュニティーの場にするためのイベントの企画、運営を行う。

研究成果

本学と西脇商工会議所、播州織産元商社との産官学連携ブランド「n+able」の新企画として西脇市出身のアーティストであるトータス松本氏とコラボレーションによるワークパンツの生地設計、見本モデルの作成、提案を行った。

サンプルとして出来上がったメンズ、レディースのワークパンツ「harima'o」のショート丈、七分丈、フルレングス丈の5型を試し生産を行い、2011年8月21日に播磨中央公園で開催された野外コンサートのスタッフパンツとして着用された。

播州織工房館を地域のコミュニティーの場にするため、「七夕ゆかた祭り」や商店街の祭りである「セントラルカーニバル」と一体となった「まちなかギャラリー」のイベントの企画、運営を行った。

播州織総合素材展2012の関連イベントとして、西脇市の中心市街地の空き店舗を活用してショップ「10人10色のトートバッグ店」を作り、新たに開発した帆布を用いたトートバッグの展示を行った。



写真1 トータス松本氏とのコラボレーションによる「harima'o」ワークパンツ  
(上) 革パッチ (下) ショート丈、七分丈、フルレングス丈



写真2 まちなかギャラリー「kitchen」の展示風景